

「おおいそ廃棄物減量化等推進員」

をご存知ですか？

「おおいそ廃棄物減量化等推進員」とは、町の廃棄物減量化及び資源化を推進するため、町長が委嘱しているボランティアの皆さんです。

推進員は一般公募により選任された推進指導員9人と、各地区から推薦された地区推進員26人の総勢35人おり、2年の任期でそれぞれ役割分担を持ち活動しています。



【推進指導員とは】

町の関連事業への参加協力、スーパー店頭でのレジ袋削減等啓発活動及び美化活動への協力のほか、日ごろ実践しているごみ減量化・資源化活動を通じて得た知識、経験を踏まえ、町のごみ施策に対する指導や助言をいただいています。さらに、平塚市の市民団体である「平塚市ごみ減量化婦人の会」との交流会や合同街頭啓発などを実施し、ごみ処理広域化に向けた交流を深めています。



▲美化センターフェアで啓発活動を行う推進指導員

【地区推進員とは】

主に地域の身近な課題を町に伝えるとともに、町が行う具体的な分別方法などの情報を、区長と協力して地域に伝える役割を担っていただいています。なお、お住まいの地区推進員の連絡先等は、担当にお問い合わせください。



▲町内スーパーで啓発活動を行う様子

【高麗地区で実施のごみ減量化講習会に参加】

5月30日(日)に、高麗地区で行われた、コンポスターの実践講習会に、坪木推進指導員を講師として派遣しました。講習会当日は、多くの方が自宅で出来る生ごみの減量化と上手に堆肥化するコツの習得に向け、熱心に耳を傾けていました。



▲コンポスターの実践講習会の様子

◎問い合わせ

環境経済課 ☎内線359

モデル事業を実施中

高齢者世帯など

戸別収集を実施

これからの高齢者施策の充実に向けて

町では、6月から来年3月までのモデル事業として、一定の条件に該当する高齢者や障がい者の方がいる家庭で、家族や親族又は近隣の皆さんの協力だけでは指定の集積場所にごみを出すことが困難な家庭に対し、ごみを玄関先まで戸別収集する「高齢者世帯等ごみ出し支援事業」を実施しています。

【その他】

本事業を通じて、ごみ収集事業に関する様々な可能性や課題などの情報を収集し、これからの施策に反映していきたくと考えていますので、ご協力ください。

事業内容

【対象世帯数】

30世帯

今回はモデル事業として、大磯町地域包括支援センターや各介護事業所などの福祉関係機関の協力により、対象となる家庭を選定しています。

【対象となるごみの種類】

- 燃せるごみ
- リサイクルできないプラスチック
- 古紙及び古布



◎問い合わせ

環境経済課 ☎内線359